

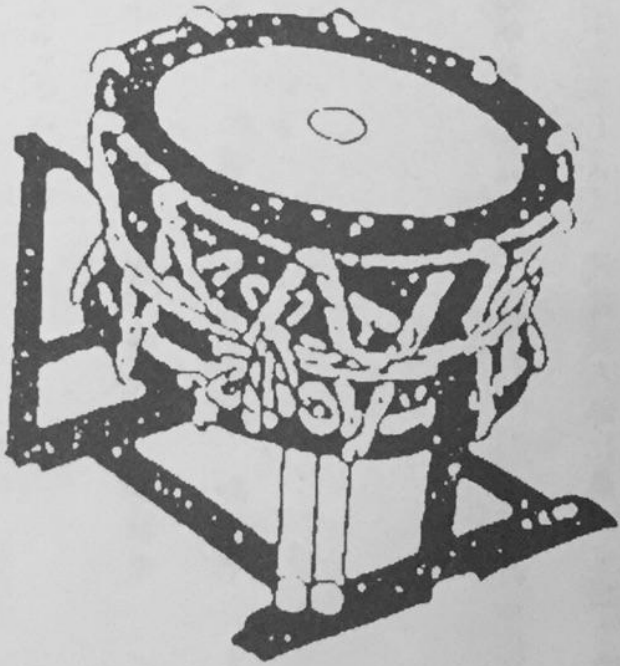
親世流能楽太鼓

第四十四回

北陸清響會

平成二十九年七月十六日(日)

於 石川県立能楽堂



御招待・御来場歓迎
ご自由にお入りください

ご挨拶

今年も、第四十四回の北陸清響會の発表会を開きます。年一回の会員の発表会です。皆様のご来場、応援をお待ちしています。今年も金沢能楽会と次の御社中の賛助出演を頂きました。有難うございます。

シテ方 藪 俊彦師 御社中

笛方 吉野晴夫師 御社中

小鼓方 住駒幸英師 御社中

笛方 江野 泉師 御社中

大革方 飯嶋六之佐師御社中

しおり

【三 輪】 大和国三輪山。三輪明神が女神の姿で現れ給い、三輪の神話を語り天の岩戸の神遊びをまなんで神楽を奏します。渡邊茂人師に舞って頂きます。

【山 姥】 都の百萬山姥という遊女は、越後越中の国境の上路で、本物の山姥と出会い、山姥が山巡りする有り様を見ます。島村明宏師に舞って頂きます。

【難 波】 難波の里は梅の名所。春の夜の月に映える中に、百済国の王仁という帰化人の霊が神と現じて、楽を奏します。渡邊荀之助師に舞って頂きます。

【鉄 輪】 女の恨みで命も今宵限りと云われた男、祈祷を始めると、生きながら嫉妬の鬼となった女が命を奪おうと現れる。藪克徳師に舞って頂きます。

【岩 船】 龍神が現れ、我は下界に住み神を敬い君を守る、日本の龍神と名乗り、貿易港の宝の船を守護します。祝言に、佐野由於師に舞って頂きます。

【遊行柳】 傘寿の記念に昔からの仲間の能楽師と、勤めてみます。麦谷拝

第四十四回
北陸清響會発表会

平成二十九年七月十六日(日) 午前十時半始

〔舞囃子〕

西王母

村上喜久男

舛田 勇
住駒 俊介

長野 裕
牧野 維禧子

杜若

岡田 睦子

田中 一義
中谷 浩子

高木 外美子
山内 麻衣子

枕慈童

任田 隆子

田中 一義
住駒 俊介

備前 栄子
矢郷 由香子

〔連調〕

鶴 亀

後藤 尚志

岡田 睦子
塚原 雄器

地謡 松田 若子
福岡 聡子

中之舞

寺西 栄子
黒瀬 千鶴

手取屋節路
村上喜久男
依村 世婦

笛 小柳 和子
小柳 健二
吉井 恵

〔舞囃子〕

志 賀

長野 裕

飯嶋 六之佐
杉原 道子

永井 規子
室石 和夫

藤

小柳 健二

川原 善夫
松井ヨシ子

古田 敏明
松川 規栄

須磨源氏

中村 清

飯嶋六之佐
村上喜久男
江野 泉

〔連 調〕

鞍馬天狗

森之下
大久保

患 齋
古田 敏明
寺井 清正
竹中 浩三

越田 常夫
野村 徹
前田 徹
堀松 徹
(森謀會)

〔独 鼓〕

六 浦

松田 若子

依 世婦

三 笑

高橋 憲正

岩鍛治京子

〔舞 囃子〕

吳 服

今村 良榮

酒井 真里
山本 保惠

久保 昌平
矢郷由香子

誓願寺

谷田 晶子

田中 一義
谷村 敦子

寺井 清正
入口 紀子

融

有本 順子

飯嶋六之佐
安井 靖子

中道 信子
北 彩乃

〔連 調〕

金 札

油谷加代美
永井 規子
高木外美子

越田 常夫
前田 徹
野村 徹
堀松 徹
(森謀會)

養 老

黒川忠美子
谷内多佳子
高原 和枝

堂 三郎
白崎 辰治
黒川 次郎
前川 強
野尻 和徳
高岡 国蔵
佐藤 一郎
松井 高司
(親世流春江弘謀會)

14. 00

雲林院

〔独 鼓〕

渡邊荀之助

手取屋節路

春日龍神

高橋 右任

寺西 栄子

〔舞 雜子〕

氷 室

中瀬みさを

田中 一義
住駒 俊介

竹中 浩三
江野 泉

羽 衣

盤 涉

八代 啓子

飯嶋六之佐
多田 順子

黒瀬 千鶴
後藤 尚志

雨 月

小柳 和子

飯嶋六之佐
住駒 俊介

小柳 健二
馬瀬 伊依

〔連 調〕

吳 服

高橋

駿斗

桶谷

芽生

北

彩乃

朝井たしぎ

地謡

松田

若子

日野

さら

朝井まひわ

愛

福岡

聰子

朝井ひたき
(こまつ歌舞伎未来塾・こまつ能楽教室)

〔番外一調一管〕

遊行柳

藪 俊彦

麦谷清一郎
吉野 晴夫

〔舞 雜子〕

三 輪

渡邊 茂人

飯嶋六之佐
多田 順子

小西富士子
室石 和夫

山 姥

島村 明宏

飯嶋六之佐
住駒 幸英

油谷加代美
江野 泉

15. 00

〔番外一調〕

葛城

佐野 玄宜
飯森 友春

野守

広島 克栄
大橋 紀美

〔舞囃子〕

難波

渡邊 荀之助
飯嶋 六之佐
住駒 幸英
本 智恵子
室石 和夫

鉄輪

藪 克徳
飯嶋 六之佐
多田 順子
任田 隆子
吉野 晴夫

〔一調一管〕

五葉蘭曲

小柳 和子
江野 泉

祝言

岩

〔番外舞囃子〕

船

棹ノ型

佐野 由於
飯嶋 六之佐
住駒 俊介
麦谷 暁夫
室石 和夫

16. 40

16. 00

北陸清響会

御来場歓迎
入場無料

麦谷清一郎
麦谷 暁夫

能楽は、継承されている演劇としては世界最古で、「世界無形遺産」に登録されています。能楽の、謡いや、舞や、お囃子を、お稽古することは、昔から盛んに行われています。当、演響会は、能楽囃子の内の、「太鼓」をお稽古している方の、年に一回の発表会です。ベテランの方も、新米の方もいらっしゃいますが、一生懸命に舞台を勤めます。入場無料でございますので、どなたでもお誘い合わせて、御遊びがてらに、冷房の利いた能楽堂へお越しいただき、古典芸能に触れ、会員への応援を、よろしく願ひ申し上げます。

石川県立能楽堂

金沢市石引四丁目十八ノ三
☎〇七六一二六四二五九八 事務所
兼六園 護国神社 美術館と隣接

能楽親世流太鼓社中

北陸清響會

師範 師範
麦谷 清一郎方
暁夫方

連絡先 〒 九二三一〇九二六

石川県小松市龍助町八四番地
☎〇七六一二二二一五八〇六

能楽喧嘩会のホームページ・検索下さい

北陸三県の謡曲古跡の案内
石川県加賀地方の里山逍遥記